



**問い合わせ先**

泗水図書館 ☎ 0968 (38) 6866  
 中央公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1672  
 七城公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1580  
 旭志公民館図書室 ☎ 0968 (37) 3111  
 内線 303

**閉館日・閉室日**

泗水図書館 月曜日・月末・祝日  
 中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日  
 七城公民館図書室 日曜日・祝日  
 旭志公民館図書室 日曜日・祝日

菊池市図書館ホームページ <http://www.kikuchi-lib.jp/>

**司書のつばやき**

受験生みんなに  
春が訪れますように！  
コスモス

**新着・お薦め図書**

**泗水図書館**

55歳からのハローライフ 村上 龍 著  
 死刑囚弁護士 デイヴィッド・ダウ 著  
 ふる 西加奈子 著  
 共犯 深谷 志記 著  
 めぐみと私の35年 横田早紀江 著  
 証言 細野豪志 著  
 親子で読もう地球の歴史 松井孝典 著  
 こおりのなみだ ジャッキー・モリス 著

**中央公民館図書室**

137億年の物語 クリストファー・ロイド 著  
 症状別みんなのストレッチ 宮地元彦 著  
 途中の一步 上・下 栗井脩介 著  
 赤猫異聞 浅田次郎 著  
 てんやわんや名探偵 杉山 亮 著  
 3びきこりすのケーキやさん 権田章江 著

**七城公民館図書室**

佐渡の三人 ながしま 有 著  
 先生のお庭番 朝井まかて 著  
 個人備蓄の時代 副島隆彦 著  
 リッキのたんじょうび ヒド・ファン・ヘネヒテン 著

**旭志公民館図書室**

月の輪草子 瀬戸内寂聴 著  
 旅猫レポート 有川 浩 著  
 いろはのかるた奉行 長谷川義史 作・絵  
 たこやきかぞく にしもとやすこ 作

**「ぼくらの秘島探検隊」**  
 私がおすすめする本は、「ぼくらのシリーズ」の中の「ぼくらの秘島探検隊」という本です。このぼくらシリーズは、主人公たちが、命をかけた大人たちをやっつける物語です。いつもどんな人たちがやっつけるのかなと楽しみに読んでいます。  
 今回紹介する「ぼくらの秘島探検隊」の敵はどうかというと、私が想像していたよりもっと悪い人たちだったのです。それは、沖繩の美しい自然をこわし、ゴルフ場を建てかえようとしている桜田組という土建会社でした。この本の主人公菊池英治は、その話を金城まさという沖繩出身のおばちゃんから聞き、美し



限府小学校5年 平川愛巳さん

**宗田 理作**  
 い自然を守るため、そして桜田組をめちゃくちゃにやっつけるために沖繩へ向かいます。そして、おどろく方法で桜田組をけちらし、英治たちのおかげで沖繩は、救われるのです。  
 このシリーズの1作目である「ぼくらの七日間戦争」は、映画にもなった有名なストーリーですので、みなさんぜひ読んでみてください。

**耳より情報**

**おはなし講座②**

とき 2月9日(土) 午後1時30分～3時  
 ところ 泗水図書館  
 ゲスト 志岐有子さん  
 (しみずおはなしの会ふしぎふしぎ代表)  
 内容 子どもたちへのお話や読み聞かせをする活動の中で、大切にしたい事や思いを一緒に考えてみませんか？  
 ※申し込み・問い合わせは泗水図書館まで。

**図書館Q&A!**

Q. 閉館(室)日は、いつですか？  
 A. 泗水図書館 国民の祝日・休日、月曜日・毎月末日・年末年始  
 中央公民館図書室 国民の祝日・休日、火曜日・第1日曜日・年末年始  
 七城・旭志公民館図書室 国民の祝日・休日、日曜日・年末年始 となっています。  
 ※広報きくち1月号31ページ「お薦め図書」の児童氏名のふりがなに誤りがありました。お詫びして訂正します。  
 誤) 松岡直音(まつおか おとね)さん  
 正) 松岡直音(まつおか なお)さん

**万句の里俳句会 12月例会**

着々と進む宮居の年用意 中路 郁子  
 寒禽の声賑やかに枝移り 鋤本 トミ  
 冬桜重たくしたる雨しづく 田中ひさ子  
 時雨るるや不意に舞ひ込む計の知ら 稲田 羚子  
 せ 冬霧の深さに山容定まらず 梅田 昭子

**せせらぎ俳句会 12月例会**

産声を待ちて師走を落着かず 服部 静子  
 大掃除ひと日延ばしを悔いてをり 藤本アツ子  
 進路迷ひまだ踏み出せず年の暮 渡辺 大寿  
 ひとりには惜しき小春の日向縁 村山 数恵  
 妻と剥き吊して小さき柿簾 藤本 邦治

**旭志文芸教室俳句会 12月詠草**

ラジオ体操終えれば明るく冬の朝 中尾ヨシコ  
 霜月や老いの細々農仕舞 芹川 蓉子  
 川霧のたなびく今朝の寒さかな 芹川のり子

**むかご採り帽子逆さに揺すりけり 水谷 ミネ**

**肥後狂句水笑会 12月例会**

好天気 刈り払機の唸りおる 辻 弘喜  
 たんす貯金 増えるどころか消えと 藤野 清子  
 アラアラ 火の付いた老いらくの恋 光堀 善教  
 器用なもん 貧乏神も養わす 上村 ○子  
 その挙げ句 競馬場から歩かなん 小川 繫美

**肥後狂句水笑会 12月例会**

手作りよ からいもだごば食てみん 御手洗三代  
 な 空き店舗 井戸端会議しよる猫 宮上 美由  
 よか仏壇 室から作り直しよる 井手 水光  
 ねばられて とうとう良かて言うた 平井 江彩  
 手作りよ 足づくりではでけん菓子 山隈 好茶

**七城短歌会 12月詠草**

中学生が届けてくれしすみれ草むらさき花咲き生気をもらおう 松岡ミチエ

**嫁ぎ来て未だも見惚れる一本のさ庭 高木 精**

履く事のなくして逝きし夫の靴八年ぶりとしみじみと見る 木下 陽子  
 シヤラの葉を紅葉に染めしやわら日を捕らえて日向ぼっこする吾 吉間 充子  
 さくら木に蔓絡まする朝鮮の朝顔花 岩津 涼子  
 咲き国境はなし 岩津 涼子

**高齢者大学 12月歌会**

新年も百三歳をまさきくと屠蘇の準備をねむごころになす 氏岡 百枝  
 朝あけの天草の海きらめきて釣舟ひとつ留まりてをり 宮本サチ子  
 芒野は銀色の波うねり行きうねり返り来風音連れて 岩根 博恵  
 今年また味噌つき出来る幸せよ庭に満ちゆく煮豆の匂い 中原 光子  
 朝夕を寒さ託ちて箸をとるいよわわが老い深む霜月 山下 菊代

**菊池短歌会 1月詠草**

みどり濃き柿・ゆづり葉抱ききぬ年越ゆる日の吾も歳神か 中原ちえ子  
 しかうして家建ち並みし空き地ゆへ 吾子は帰省の道に迷へり 奴留湯健蓉  
 藪椿咲くよ明るき草屋に年始の道具 村上さき江  
 また仕舞ふなり 村上さき江  
 何時しらに過ぎゆく早し今日在りて 山下 菊代  
 卒寿の齡給ふ初春 山下 菊代



この街に迎ふる春はや三十七年箱根 駅伝ふるさとが見ゆ 余語やす子

